

写真1. 三浦貯水池右岸上流より見たる堰堤工事状況(15.1.5 現状)  
(1)堰堤(2)工事に用假排水路(3)材料倉庫(4)工事事務所(5)合宿(6)森林鐵道

## 三浦貯水池工事の概要

日本發送電株式會社 參事 石川 榮 次 郎  
中部水力建設事務所 長

### 1. 計畫の大要

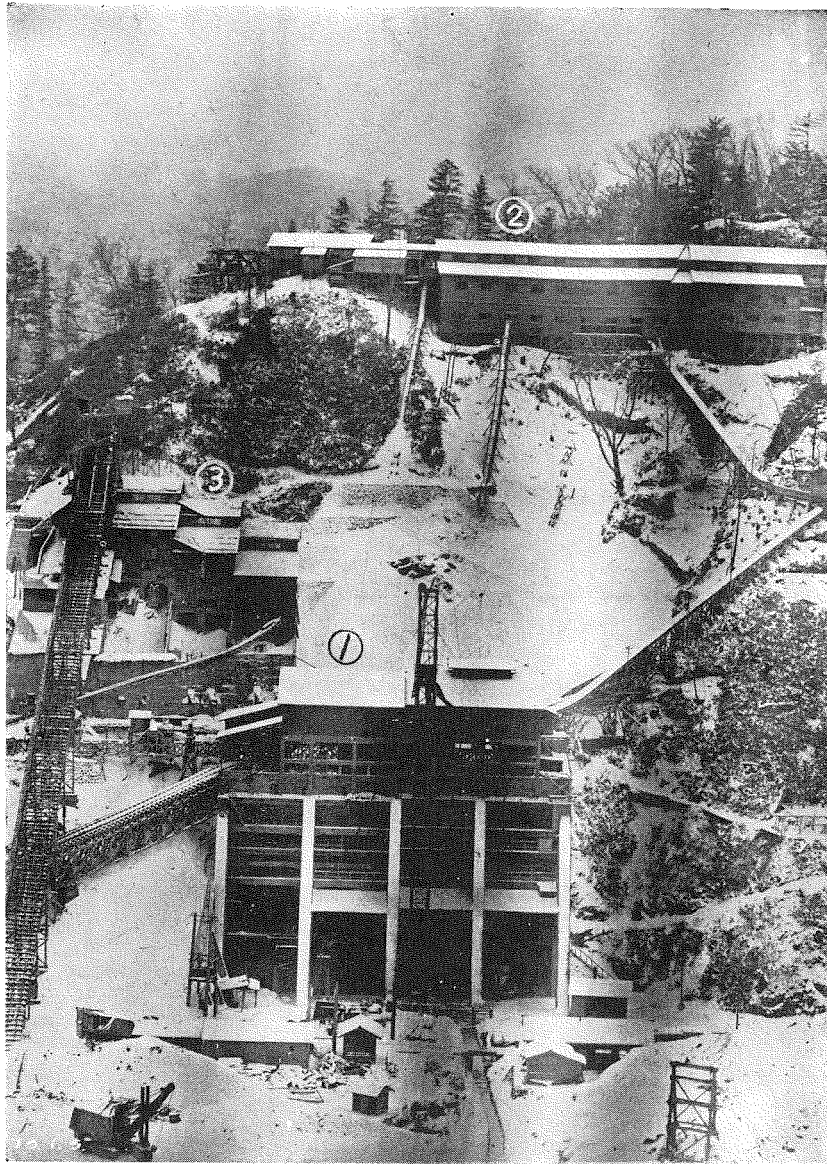
木曾川の水力發電所は、大正7年來、漸次開發せられ、既設及工事中のものを含めて、其の發電力約31萬4000キロワットにして、更に計畫中のものを加算するときは、實に50餘萬キロワットに達せんとす。然るに渴水期には、相當發電力の減退を免れず、是が補給を計畫

せるもの即ち三浦貯水池にして、其の完成の曉は、渴水期に於て、年平均發生電力量は、前者は9800萬キロワット時、後者は6100萬キロワット時合計1億5900萬キロワット時の増加を見るに至る。

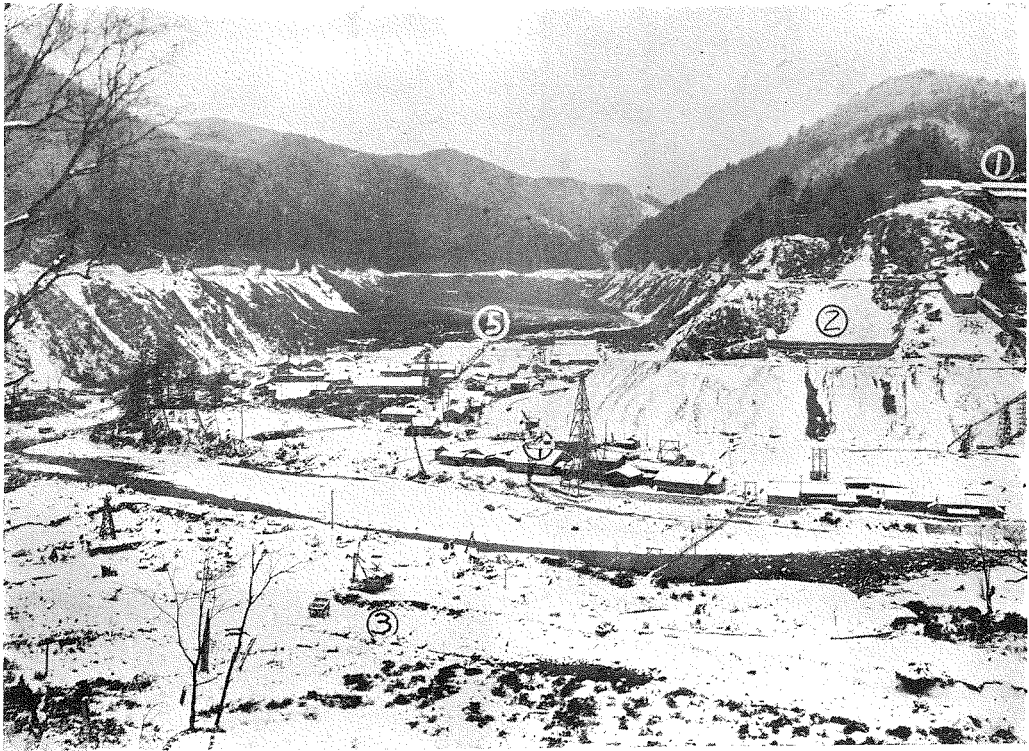
本貯水池は木曾御嶽山の西麓に位し、木曾川支流王瀧川の上流、長野縣西筑摩郡王瀧村



寫眞2. 三浦貯水池右岸下流より見たる堰堤工事狀況(15.1.5 現狀)  
(1)堰堤(2)セメント倉庫(3)混合工場



寫眞3. 三浦貯水池、(1)混合工場(2)セメント倉庫(3)骨材撰別工場(15. 1. 5 現狀)



寫眞4. 三浦貯水池(右岸より見たる)(1)混凝土セメント倉庫(2)骨材置場(3)骨材採集場  
(4)雇員第三合宿(5)間組にて施設せる組員及人夫宿舎、醫療所、學校等(15. 1. 5 現狀)

三浦御料地内に在り、海拔1300米の所謂三浦平と稱する盆地の咽喉部を扼し、河床上59米の堰堤を築造し貯水池となすものにして、其の容量5640萬立方米(20億立方尺)なり。

流域面積 69平方軒(4方里5)

貯水池面積

總面積 2平方軒99(300町步)

周圍 25軒75(6里15町)

水深 最大58米(190尺)

利用水深 46米(150尺)

## 2. 堰堤の概要

型式

直線型重力式非溢流型混凝土堰堤(右端一部溢流型)

寸法

高さ、基礎岩盤上、84米

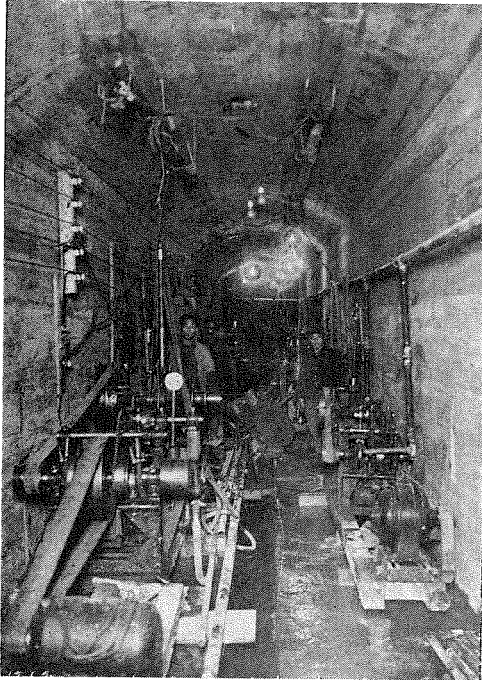
天端互長、290米

堤頂幅、7米

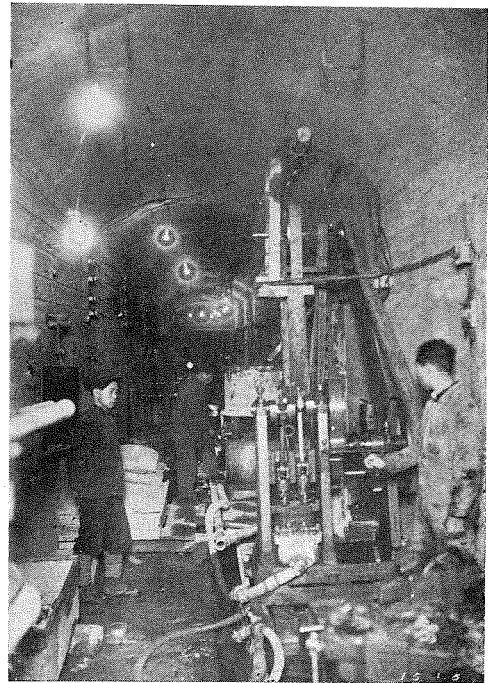
堰堤混凝土體積、52萬立方米(8萬6000立坪)

堀鑿、31萬5000立方米(5萬3000立坪)

セメント、266萬袋(以上)



寫眞5. 三浦貯水池堰堤、作業隧道内グラウト状況(15. 1. 5 現状)



寫眞6. 三浦貯水池堰堤、作業隧道内ボーリング状況  
ボーリング坑數374本、總延長10,095.5米  
(15. 1. 5 現状)